



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



第6回例会 2021.10.20 (水)

■出席率 会員70名中51名出席72.85% 修正54 77.14%
メイクアップ3名

◆会長挨拶 一條 浩孝 会長



まずはご報告がございます。10月6日の指名準備委員会、そして10月13日の理事会を経まして会長ノミネーが選出されましたので皆さんにご紹介したいと思います。選出されましたのは菅野良二さんです。是非、健康に留意され、ご活躍いただきますよう期待しております。

さて今日は新会員の皆さんにスピーチをしていただきます。恐らく皆さん緊張されているとは思いますが、皆さんを知っていただくいい機会ですし屈託のないお話をしていただければ充分ですので、是非気を楽にしてお話しいただければと思います。

そして、この後すぐに成蹊高校の皆さんに奨学金の授与がございます。合わせて生徒の皆さんに将来の夢を発表していただきます。

夢と言えば思い出されることがあります。直前ガバナーの石黒秀司さんのお話しです。石黒さんはガバナーになられる数年前、地区の米山記念奨学会委員会の委員長でいらっしゃ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



いました。当時私も委員としてご一緒させていただいておりましたが、地区の米山に所属していますと当然ながら沢山の奨学生と接することになりますし、同時に彼らの夢も沢山うかがい知ることになります。

そこで石黒さんはあることに気づかされたとおっしゃっていました。それは若いころに抱いていたはずの大きな夢が、いつの間にか小さく、小さくしぼんでしまっていた、ということでした。そして奨学生に刺激をもらうことで、もう一度大きな夢を持ってみようと思えたということでした。

今日は私も生徒さんの夢を聞いて、しばみがちな自分の夢をもう一度見つめ直すきっかけにしてみたいと思っています。こうした機会があるのもロータリークラブの素晴らしいところではないでしょうか。

◆福島成蹊高校奨学金授与

本田哲郎校長先生から謝辞があり、奨学生 3 人から将来の夢が語られました。

- 1年 茂木さん・・・気象予報士になって
自然災害から人命・地域を守りたい。
- 2年 佐久間さん・・・医療事務員になって
人に信頼される人間になりたい。
- 3年 島村さん・・・陸上自衛官になって
国のために、多くの人を守り、希望を
与えたい。



奨学金が夢に向かって頑張る 3 人の少しでも役に立てば幸いです。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



◆新会員スピーチ 1

株式会社 With Wedding 川島 利文さん

皆様こんにちは。私は6月で退任された安齋紀之さんの後任として入会いたしました、株式会社 With Wedding で総務部長をしております川島利文と申します。改めましてどうぞよろしくお願ひいたします。

誕生日は昭和39年6月16日、ちょうど新潟地震の真っ最中に病院の壁が崩れ落ちる中で生まれてきました。生まれも育ちも

郡山市で、現在57歳。家業である旅館川島、後の郡山グランドホテルというホテル業を営む両親のもとに生まれました。当時、郡山市の中心部には郡山市民会館という大型施設があり、コンサートや催し物が多く行われていたのですが、最も近いビジネスホテルだったこともあり、芸能人もよく利用されておりました。中でも小学生のときには憧れのドリフターズが宿泊に来た時は、嬉しくて特別に握手してもらったことを覚えています。

郡山市内の小・中学校、高校を卒業し、高校卒業後はお隣の山形県で大学生活を過ごしました。とても雪深かったことを今でもはっきりと覚えております。

大学生当時、大変なゲーム好きだった私は、勉強はほどほどに毎日ゲームセンターへ通ってました。今でこそeスポーツという名前で世間に広く知られるようになりましたが、当時ゲームセンターはまだ不良のたまり場という暗いイメージが根強く、あまり大っぴらに自慢できる趣味ではありませんでした。

ですが、その趣味が高じて大学卒業後は東京のゲーム開発会社に就職することができました。趣味と実益を兼ねたまさに天職とも言うべき仕事に就くことができ、約10年間充実した生活を送っておりました。

その一方で家業であるホテルでは、扱う結婚式の件数が徐々に増えていったことから、ホテル業から結婚式場業へとシフトしていきました。昭和55年には郡山市の中心地に椿山荘という式場をオープンし、郡山を代表する結婚式場へと成長いたしました。現在も記憶の森という屋号に変更して営業を続けております。その結果、郡山市を中心に結婚式場4店舗のほか、葬祭場や宝飾関係の店舗なども営業することとなりました。

さて、私は東京で仕事をしつつ毎年盆と正月には実家に帰ってました。帰るたびに父と兄から地元に戻って家業を手伝わないかと誘われるようになりました。ですが天職を得た私





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



には戻る気持ちは一切無く、毎回その要請を断っておりました。しかし平成8年頃に「新しい結婚式場を造ろうと思っているから、何とか力を貸して欲しい」と強く要望され、身内がそこまで言うならと天職を捨て泣く泣く戻る決心をし、翌平成9年には地元郡山に戻って家業を継ぐことになりました。

冠婚葬祭に携わることになり、接客業にも慣れてきた最中、東日本震災のつらい時期も経験し、復興に向けて活動していた平成25年、福島市に本社を置く同業の上場企業こころネットグループとご縁があって経営統合をすることになりました。それを機に私は本社であるこころネットに転籍となり、総務部長を務めさせていただきました。私は福島市には殆ど来たことが無く、知り合いもいない、総務の仕事も初めてという中で、周りの人達に支えられながら何とか7年間務めることができました。また当会を退会された安齋さんは当時こころネットの常務取締役、そして当会員でいらっしゃいます弁護士の方藤先生も非常勤の社外監査役で、統合当初から大変お世話になりました。その他にもここにいらっしゃる皆様の会社にも色々お世話になりました。心から感謝申し上げます。

この7年間、株式事務をはじめ、総務全般にわたる幅広い業務に携わることができ、多くの知識を身につけることができたことは、自分自身にとっても大きなプラスになったと思います。

そして昨年の7月、こころネットの子会社であるWith Weddingに転籍となり、今日に至ります。With Weddingはこのリアンテサンパレスを含め福島県内に6つの結婚式場を持つ会社で、私が元々在籍した郡山グランドホテルの承継会社であり今年で創業63年となります。ただ現在はコロナ禍のため、かつてない苦境に立たされており、アフターコロナを見据えた布陣を再構築し、地域一番店になれるよう社員一同奮闘中であります。

私自身もこのたび福島南RCに入会をさせていただきましたが、早く一人前になれるよう努力してまいります。今後も皆様のご指導とご鞭撻をお願いいたしまして、私の新会員スピーチとさせていただきます。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

◆新会員スピーチ2

株式会社マルフォート 渡邊 勝さん

まずは会社の紹介をさせていただきます。

弊社は笹谷の農免道路沿いにあります。

マルフォートなんて変わった名前だな～と思われた方もいると思います。





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



名前、マルフォートの由来は、快適の「コンフォート」、幸運の「フォーチュネート」、みんなを守る砦や堡壘（ほるい）とは、敵の攻撃を防ぐために、石・土砂・コンクリートなどで構築された陣地の事を言います）を意味する「FORT フォート」と「みんな」や「全て」を意味する「マルっと」からマルを取った造語になります。弊社に関わった全てのお客さまが幸運に包まれた安心できる住まいで快適に過ごせるようにとの思いを込めました。

もう一つの理由は、有名な物に似た名前にしたかったからです。お気づきの方もいると思いますが船のデザインが書いてあるチョコレートのお菓子「アルフォート」や、車の「アルファード」があると思います。聞き馴染みのある言葉に近いと覚えて頂きやすいのではと考えたのと、その人気にあやかりたい気持ちもありました。

現在は不動産の売買、仲介、買取、分譲開発をメインに時々建築設計、確認申請なども行っています。

弊社は、始まってから4年目の始めたばかりの会社です

私は最初から不動産の仕事にはついていませんでした。子供の頃から「渡辺篤史の建物探訪」を見てこんな家を作る大工さんか建築家になりたいと夢を見ていました。高校を卒業して、大工の養成学校がある建設会社に就職したまでは良かったのですが、配属されたのは「営業」でした。

親戚からはあんなに無口で大人しいのに営業なんてできるの？なんて心配もされましたが何とかやってこられました。今思えば何もわからないのによくやっていたなと思います。入社した次の年、消費税が3%から5%に増税の時で、駆け込み需要があり大変忙しく、毎日帰りが10時～11時頃になっていました。自分の営業帰り遊びから帰ってくる同僚が会社で鉢合わせに、なんてことが度々あり、悲しい気持ちの時もありました。

そんな気持ちで仕事をしていましたが、ある日お客様と楽しく話している自分がいることに気が付きました。こんなにも住まいの事で真剣に話し合えるのが楽しく、しかもお客様に喜んでもらえる充実した日々を過ごしていました。そんな中、宅建の資格を取る事が出来、分譲地の開発にも携わるようになりました。その分譲地の開発は今まで習ってきた事の集大成のように感じ、やりがいを見つけました。自分の担当した分譲地が売れると嬉しく、自分の担当外のお客様でも、自分のお客様のように感じていました。

しかし、サラリーマンである以上、どうしても納得いかない事や従わざるおえない事などがあり、悔しい思いもしてきました。そこで挑戦のため独立を決意し現在に至ります。

次に個人的な話としては、趣味はバイクと車とラーメンです。

車は運転するのが大好きで、どこまでも走っていき、横浜中華街に食事をしに日帰りで行ったり、先日も青森まで日帰りで行って来ました。

バイクはツーリングに行きながらラーメンを食べに行くのが好きなのですが、なかなか時間が取れず、車検も切れてしまっている状態なのですが、来春くらいまでには車検を通して復



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



活したいと思っています。

バイク好きの方、一緒にツーリングに行ければうれしいです。ちなみにバイクはスポーツスターです。

もう一つのラーメンですが、食べ歩きも好きなのですが、一時期は好き過ぎて製麺機を購入し、自分で製麺して、出汁とり、カエシまで作るほどハマっていた時がありました。最近では時間の確保が出来ずやれずじまいになっています。

次にロータリーに入会したきっかけですが、以前からロータリーって何をやっているのだろうと思っていたところ、以前からお付き合いのあった鈴木光一さん質問したところ、熱烈にお誘いいただき入会させていただきました。

入会したからには少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思います。わからない事だらけでご迷惑をかけるかも知れませんがよろしくお願いたします。

◆新会員スピーチ 3

半澤法律事務所 弁護士 半澤 一成さん

今年入会させていただいた。半澤一成です

一條会長と海老根さんのご紹介で入会させていただきました。尊敬申し上げているお二人から、熱心にお誘いいただき、素晴らしい会だと思い入会させていただきました。今年39歳になりました。出身は会長と同じ伊達市で、会長のご実家の近所というご縁で入会させていただきました。福島南ロータリーにお誘いいただき、改めて伊達市出身でよかったと思っています。



職業は弁護士です。

なぜ弁護士を目指したかという、私が高校生の頃に、乙武洋匡さんの五体不満足という本がとても人気があって売れていて、私も読んで大変刺激を受けたからです。私も小さいときの怪我で左足が不自由なのですが、乙武さんは私よりもずっと重度の障がいをお持ちなのに、明るくさわやかに生きていらっしやって、感動するとともに私も頑張ろうと思うようになりました。

職業の内容ですが、最近、コロナの影響もあり、急速にIT化が進み、裁判もWEBで



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

行われることも多くなりました。お客様ともWEBで打ち合わせをすることも多くなり、事務所から1歩も出ないで誰とも会わずに業務をする日もあります。その分、ずっとパソコンと向き合っていて、運動不足で肩こりや腰痛がひどくなりました。趣味だった障がい者バレーボールも引退状態で運動不足の日々です。

業務はAI化が進んできており、契約書チェックはAIが代わりにやってくれるようになりました。ボタンを押せば瞬時に契約書の条項の有利・不利などをAIがチェックしてくれて、さらに条項の抜け漏れなども確認してくれます。

これからロータリーの奉仕の理念について勉強して頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

◆次回例会 第7回 2021.10.27(水)

- ・新会員歓迎例会
- ・新会員スピーチ4 宮城貴志会員
- ・新会員向けスピーチ1 松崎弘昭会員
- ・新会員向けスピーチ2 菊地和宏会員

ロータリーセミナー（例会後13時40より1時間程度）